

# ikeeco

2022  
Vol.39

“住む人が主役の家づくり”に、もっとファンを！

地域材や大工育成に  
こだわる地域工務店が  
気密断熱を本気で考えたら  
シュタイコに行き着いた。

## 地域材や大工育成に こだわる地域工務店が 気密断熱を本気で考えたら シュタイコに行き着いた。



有限会社村木建築工房

村木幹直社長

<https://muraki-k.jp/>

静岡県浜松市に拠点を構え、地域材(天竜杉)にこだわり耐久性のある家づくりを行い大工育成にも貢献するなど、地元密着で高い工務店スキルを発揮する「有限会社村木建築工房」。早くから住宅の基本性能の向上、特に気密断熱に関する取り組みを本格化させ、意識の高い施主に支持される地域工務店へと着実に成長を遂げている。

今回は、木繊維断熱材シュタイコを採用する高性能と健康を中心に据えた家づくりの考え方から、地域や施主に貢献する地域工務店の在り方について、社長の村木幹直さんに話を聞いた。



## 地元根差した持続可能な家づくり

「私たちが目指す理想の住まいは、基本、自然素材を使った家づくりになります。約20年前より、特に地元の浜松で育った天竜杉をふんだんに使って建てるようになりました。他にもなるべく漆喰などの塗り壁や、内装にもなるべく無垢材を取り入れ自然素材で覆われた家づくりを行っています。」と、村木さん。

希望した施主とは地元の山に登り、幼ない子どもがいる家族でも入れる場所で大黒柱にする材と一緒に選び伐採するツアーも行う。実際に生えている木を見ながら、施主自らが選んだ大黒柱を使うことで家づくりへの愛着も増していくのを見てきた。

地元の豊富な森林資源であるスギ材を多く使うことは、同社の目指す持続可能な家づくりの一環である。村木さんは地元根差す工務店として人材育成、主に大工養成という面でもSDGs(持続可能な開発目標)に具体的に取り組む。(一社)JBN・全国工務店協会や(一社)静岡木の家ネットワークの理事などを務め、自身が16歳から大工を始めた村木さんは、本業の傍ら地元の中学校で外部講師を務めており、生徒と一緒に天竜杉を使った保健室のリノベーションを行ったことも。村木さんによる地元の木材活用や大工仕事の魅力を伝える実践的な職業教育を通じて、指導した卒業生がやがて自社や地場工務店へと就職する道筋もつける。

## 高まる施主意識の先を行く

これまでの経験を生かし住む人の健康を考えた家づくりには、天竜杉のような地産地消の素材以外にも、メンテナンスをしながら7~80年ぐらいの耐用年数のある家にふさわしい建材を使うことを基本としてきた。

そんな木へのこだわりや性能面、健康な住まいづくりを掲げる同社にも、時代のニーズを反映して高气密高断熱の予備知識を備える一次取得の若年層が増えてきているという。

元々、家づくりにおける自然素材の重要性を理解し「終の住処」を求める50~60代の施主との成約も多いという同社ではあるが、既に6年前に現在の『HEAT20』(\*1)のG2グレード・レベルのモデルハウスを建てていた。浜松市周辺は温暖な地域ではあるが、窓には県内で先駆けて全てトリプルガラスの樹脂サッシを採用するなど「モデルハウスをせっかく建てるのであればせめて10年くらい先の建物に」という村木さんの考えを実践したのである。

しかし、そのモデルハウスでも「毎年6月頃にはオーバーヒートのような夏の暑さを感じ、エアコンをずっとかけ続けないと居られない状態なんです。しかも、気密性を高めるほどオーバーヒートをしやすいということも感じられるようになりました」。そんな中、モデルハウスを建てて5年が経過した昨年、夏の熱対策に対して有効な手掛かりがないかと模索していたところで木繊維断熱材シュタイコと出会う。

全棟を気密測定し全熱交換型換気システムの採用などの施策を試みってきたが、夏型結露の改善や断熱性能の向上についての対策としてシュタイコの説明を受ける中で、村木さんが気になっていた「熱容量」の高さが採用の決め手になったという。



## 「性能より素材です」と村木さんは言い切る

昨年に行った同社モデルハウスの改修では7月に断熱工事に取り掛かり、即座にシュタイコの効果を体感することとなった。「天井にシュタイコを施工した後の7月8月でも建物の中が涼しく、現場にいた大工や電気工事の職人たちと一緒に驚きました。これまでなら、夏場の現場では汗びしょりになりながら作業していたのに、なんでこんなに暑くないのかとみんなで顔を見合わせたほどです。現場で断熱性だけでなく調湿性も肌で感じたことでシュタイコの効果がすぐ納得できたので、以降は施主にも自然素材の断熱材を提案することになりました。」

「個人差もあるとは思いますが、以前にはセルロースファイバー断熱材を採用していた時期もあるのですが、シュタイコが木の繊維でできているからか断熱材の施工現場で感じる肌の違和感が全然ありませんでした。シュタイコの現場では、室内の空気質の良さを感じられました」と、体感による違いを強調する。

「ショールームにはオガファーザーも採用していますが、湿度だったり空気感だったり全然違うんですね。例えばエアコンをつけた際になんとなくむっとするっていうよりは、空気質が良くなっていく感じといえよいでしょうか。お客様もその違いに敏感に気付いてくれることがあります。」

村木さんは最近、実際にモデルハウスや見学会に来場する施主から断熱材に対する意識の変化も大きく感じていた。高気密高断熱や耐震などの基本性能に対して著名建築家のYouTubeチャンネルなどを見て学習している施主は、石油製品よりも自然素材の断熱材に高い関心を示す傾向にあるという。もちろん价格的な制約で採用に至らないケースはあるが、こだわりを持つ施主には木繊維断熱材の提案が有効な切り口になることもある。そういった施主とは論理的に話を進めることができ、素材や工法の数値だけで判断せず話も進めやすいという。素材の使い方をきっちりと示し性能だけで家を語るができないので、性能一辺倒に陥りがちなハウスメーカーと競合することもほとんどない。

そういった経緯も踏まえ「言葉では伝えにくい体感の差を目で見て分かりやすく提案する」ということもモデルハウス改修の目的の一つであった。断熱材やサッシ、換気システムについては実物を展示し、制振ダンパーも説明ができるブースを設置。モデルハウス改修後に「どこかの壁をアクリル板などでスケルトンにして見てもらえるようにすべきだった」と後悔したが、シュタイコの他にも一般的なグラスウールなどの材料に熱を与えて温度の違いを見られる展示に来場者の反応も上々だ。



断熱材の熱容量比較キット



また、実物件ではせっかく高性能なシュタイコや設備を使うのであれば、ビニールクロスなどの新建材の多用は避けていきたいところ。透湿性のことを考えて室内側も漆喰やオガファーザーなどの提案を行うが、それでも壁にビニールクロスを採用せざるえないケースなどは出てくる。そんな時は、天井には杉板を採用するなど、必ずどこかで透湿ができるように工夫している。

もちろん、木繊維断熱材の水蒸気の吸放湿・保湿性を生かすために、シュタイコを施工時には可変調湿気密シートを併用した上での話だ。湿度が高くなると透湿抵抗が低くなり水蒸気を低い方に透湿する、可変調湿気密シートは夏型結露の対策に有効だけでなく、乾燥時には防湿シートの役割を果たしてくれる。

最後に、「やっぱりシュタイコの良いところは、夏の暑さを大きな熱容量で蓄えてくれる点ですね。」と、村木さん。雪がほとんど降らず日射量の多い地域では、健康や省エネにつながるシュタイコのような断熱材が住まいづくりには欠かせない。

**STEICO**  
engineered by nature

**木繊維断熱材**  
**シュタイコ デュオドライ**

シュタイコ デュオドライは溝の凸凹を合わせることで、勾配16度以上の屋根なら余分の素材を何も使わずに高い撥水効果で雨風を防ぐことができます。施工も簡単で軽やかな新築にもリノベーションにも最適な木繊維断熱材工法です。



## メディア掲載情報

### CONFORT No.183

建築家・堀部安嗣さんに人や環境に寄り添った住宅を提案する中での断熱材の選び方ー木繊維断熱材シュタイコを採用するメリットについてお話しいただきました。



## 施工事例

### 2023カレンダー候補写真募集



毎年ご好評いただき発行している、大判カレンダーに掲載する弊社商品の納入事例を募集中です。皆様よりすてきな建物の写真のご応募をお待ちしています。



## イベント情報

### 持続可能な建築の 考え方と実践 (入門編)

基礎となる  
考え方：実践と建物の  
最新事例

2022  
7/14  
THU  
16:30  
18:00



### スイスより 生中継

逐次通訳と解説は  
滝川薫氏  
(スイス在住・環境ジャーナリスト)  
が生中継で行います。



### ペーター・シュルヒ氏

ベルン州立大学建築・木造学部教授  
持続可能な建築とエネルギー課程代表  
建築設計事務所Halle 58代表  
ノーマン・フォスター・ソーラー賞審査員長、ZEH・ZEBの実績多数で現代木造、サステナブル建築に精通。学生や社会人を対象とした教育活動の傍ら、木造新築・改修による模範的な事例を生み出し続けている。



滝川 薫氏  
(逐次通訳)

主催：スイス・日本サステナビリティ交流ウェビナー実行委員会 協賛：株式会社イケダコーポレーション

## ブランド製品動画完成



イケダコーポレーション

YouTubeチャンネルにて公開中!



## 重要

### 製品価格 送料改定の お知らせ

昨今の世界情勢の影響により材料原価、資材コスト、人件費等が高騰しており、弊社輸入メーカー各社より全製品に対する値上げの連絡を受けております。また為替変動や原油高、輸入諸費用も高騰しており、弊社でも経費節減や事務の合理化等コスト削減に努めてまいりましたが、製品 価格 送料を維持することが困難な状況になり、やむをえずコストアップ分の値上げさせて頂かざるをえない状況となりました。お取引様各位には大変ご迷惑をおかけすることになりますが、なにとぞ事情をご理解いただくとともに、今後とも弊社輸入製品のご愛顧をよろしくお願いいたします。



ひとと環境にやさしい住まいづくり  
株式会社イケダコーポレーション

ご注文・カタログのダウンロードはWEBから



SNSで施工事例・イベント情報など  
更新しています



Instagram  
@ikedacorporation



フェイスブック  
@ikeco.jp



ツイッター  
@iskcorp



YouTubeチャンネル  
イケダコーポレーション

0120-544-453

仙台・東京・名古屋・大阪・福岡

URL www.iskcorp.com

ご登録  
お願  
い  
し  
ま  
す